AQUOS PHONE f SH-13C

クイックスタートガイド　'11.9

はじめに

「AQUOS PHONE f SH-13C」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- SH-13CはW-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが４本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、カレンダー、メモ帳、音声・伝言メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品および主なオプション品

■本体付属品

SH-13C本体
（保証書・リアカバー SH55含む）

電池パック SH29

クイックスタートガイド

microSDカード
（2Gバイト）（試供品）
（取扱説明書付き）

- お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

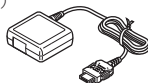
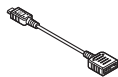
PC用microUSBケーブル（試供品）
（取扱説明書付き）

ワイヤレスチャージャー SH01（保証書付き）

<ワイヤレスチャージャー>

<専用ACアダプタ>

■主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書・取扱説明書付き）

FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01
（取扱説明書付き）

- その他のオプション品については☞P.76

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-13C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

FOMA端末で操作方法を確認する

ホーム画面で[⊝]▶[取扱説明書]を選択すると、取扱説明書に記載されている主な内容を確認することができます。また、目次、索引、検索を利用して、使いたい機能の説明を探すことができます。

- 取扱説明書について最新の情報が掲載されています。

目次

SH-13Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモード機能（ｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなど）には対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- Wi-Fiテザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用の料金プランにより、Wi-Fiテザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- パケット定額サービスをご利用の場合、Wi-Fiテザリングをご利用中のパケット通信は、外部機器が接続されていない状態でも、すべてのパケット通信（ブラウザやメールなどを含む）が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。外部機器での通信が終了次第、必ずWi-Fiテザリングを無効にしてください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（☞P.82）。
- 本FOMA端末は、OSのバージョンアップにより機能が追加されたり、機能の操作方法が変更になったりすることがあります。この追加・変更に関する内容の最新情報は、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や、意図しない不具合が発生する場合があります。

- microSDカードやFOMA端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスや、Twitter、mixiなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- mopera U、ビジネスmoperaインターネット(URL制限)およびspモード以外のプロバイダはサポートしておりません。
- microSDカードを挿入しなくても本FOMA端末をお使いいただくことはできますが、カメラで撮影した画像やボイスレコーダーで録音した音声など、microSDカードにしか保存できないデータがございます。また、microSDカードが挿入されていない場合、赤外線通信やBluetooth®通信でデータの送受信ができない場合があります。
  このため、本FOMA端末をご利用になるときは、microSDカードを挿入することをおすすめします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
  また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の 6 項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)・ワイヤレスチャージャー・ドコモminiUIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
☞P.22「防水／防塵性能」

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホンマイク端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

ワイヤレスチャージャーの表面やFOMA端末のリアカバー、電池パックに金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーと、FOMA端末や電池パックの間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、FOMA端末に装着しているカバーなどは取り外してください。

カバーの材質や厚み、FOMA端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームなどを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

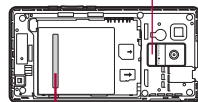
モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1 m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意事項：

当製品に使用されているモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整などの操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001

モバイルライト

CAUTION-CLASS 1M LED RADIATION WHEN OPEN
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS

FOMA端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

Earphone Signal Level
The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 24.0 mV.

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保（強化ガラスパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について☞P.15「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）・ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタやワイヤレスチャージャーは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やワイヤレスチャージャーには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタや電源プラグを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。

発熱や発火、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)のコード、ワイヤレスチャージャー、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ:AC100V

DCアダプタ:DC12V・24V(マイナスアース車専用)

海外で使用可能なACアダプタ:AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタや電源プラグをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)やワイヤレスチャージャーのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／表面飛散防止シート付き
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂／UV塗装
受話口の周囲	PMMA樹脂／表面ハードコート
側面	PA樹脂／表面UV、不連続蒸着
リアカバー	PC樹脂／表面塗装
リアカバーのパッキン	シリコンゴム
操作キー	PC樹脂／表面UV塗装
サイドキー	PC樹脂／表面UV塗装
イヤホンマイク端子	銅合金／金メッキ
外部接続端子	SUS／Niメッキ
外部接続端子カバー	PC樹脂／表面UV塗装
カメラ／赤外線ポートパネル	PC樹脂／表面ハードコート
モバイルライト	ABS樹脂
リアカバー内部	PA樹脂
スピーカ部	PE
スピーカ部の周囲	発泡PE
シート	PET樹脂
ドコモminiUIMカードスロット	SUS
ドコモminiUIMカードレバー	46ナイロン
microSDカードスロット	SUS
電池端子コネクタ本体	LCP
電池端子	快削黄銅／Ni下地、金メッキ
電池収納面	PET／ガラスエポキシ基板
ネジ	鋼／Niメッキ、三価クロメート
電池パック本体	PC樹脂／放電加工
電池パック端子部	銅合金／全面Ni下地メッキ、金メッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **SH-13Cは防水／防塵性能を有しておりますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
電池パック、アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）、ワイヤレスチャージャー、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチパネルが破損する原因となります。

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃(ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る)、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **シールなどでFOMA端末を装飾しないでください。**
  ワイヤレスチャージャーで充電ができないことがあります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - ■ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
  - ■ 電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)・ワイヤレスチャージャーについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)やワイヤレスチャージャーが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

  故障の原因となります。
- 毛布などを被せた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。
- 指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。
- ワイヤレスチャージャーとFOMA端末の間に、金属製ストラップなどの金属類を挟んで充電しないでください。
- FOMA端末にアダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)やPC用microUSBケーブルを接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。
- 磁気カードなどをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。

  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- ワイヤレスチャージャーに磁気を帯びたものを近づけないでください。

  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ １：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▬▬▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4:2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
④ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
⑤ ■■■:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本製品の無線LANで設定できるチャンネルは1～13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
フランスなど、一部の国／地域では、無線LANの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

● FOMA端末のFeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
● 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

● 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
● 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- **FOMA端末をPC用microUSBケーブル（試供品）でパソコンと接続する場合は使用を禁止された区域などでは行わないようご注意ください。**
  自動的に電源が入る場合があります。

防水／防塵性能

SH-13Cは、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1　IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約３mの距離から12.5リットル/分の水を最低３分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2　IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深１mのところにSH-13Cを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3　IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を８時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

SH-13Cが有する防水／防塵性能でできること

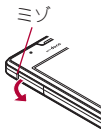
- 雨の中で傘をささずに通話ができます（１時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（６リットル/分以下、常温（５℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けた状態で、外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（☞P.25）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。

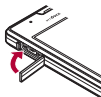
ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

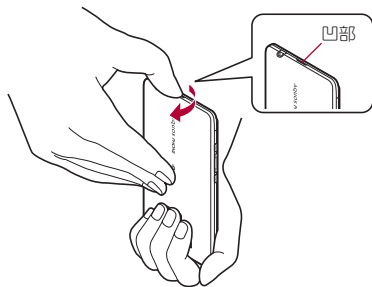
- 外部接続端子カバー、リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- 外部接続端子カバーやリアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、外部接続端子カバー、リアカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- イヤホンマイク端子の中に埃が入った場合は、取り除いてご使用ください。

■外部接続端子カバーの開きかた

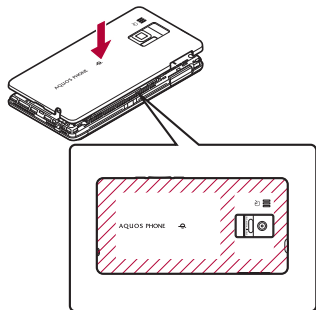
ミゾに指をかけて、開けてください。

■外部接続端子カバーの閉じかた

FOMA端末と外部接続端子カバーにすき間が生じないように、矢印の方向にしっかりと押して閉じてください。

■リアカバーの取り外しかた

1 カメラの周辺をしっかりと持ち、リアカバーの中央部に指を添え、リアカバーの凹部に指先をかけて取り外す

- 凹部にかけた指を矢印の方向に回しながら力を入れてください。

■リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認してFOMA端末に合わせるように装着し、リアカバーの周囲(斜線部)をしっかりと押して取り付ける

- リアカバーとFOMA端末にすき間がないことを確認してください。

- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だとリアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。また、防水／防塵性能が損なわれ、水や粉塵が侵入する原因となります。
- リアカバーは無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると破損するおそれがあります。無理な力を加えないようにしてください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず２年に１回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉はしないでください。
- 外部接続端子カバー、リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛１本、砂粒１つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 外部接続端子カバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子カバー、リアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  外部接続端子カバー、リアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子カバー、リアカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵が侵入する原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水中でFOMA端末を使用（ボタン操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定（☞P.22）以上の強い水流（６リットル/分を超える）を直接当てないでください。SH-13CはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（５℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへはFOMA端末が常温になってから持ち込んでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間使用しないでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。

● 砂／泥の上に直接置かないでください。
● 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
● FOMA端末は水に浮きません。
● 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
● 送話口、受話口、スピーカ、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
● FOMA端末が水に濡れた状態でイヤホンを挿さないでください。故障の原因になります。
● 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属のワイヤレスチャージャーSH01にFOMA端末を置いた状態の場合、専用ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

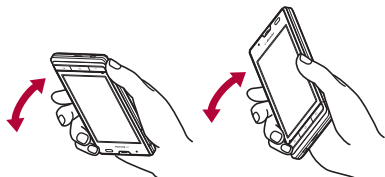
● 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

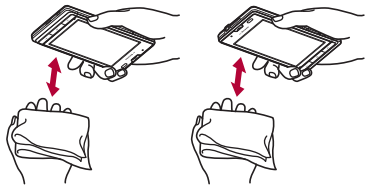
水に濡れたときの水抜きについて

FOMA端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

1 FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 FOMA端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

3 **送話口、受話口、スピーカ、ボタン、イヤホンマイク端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取る**

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

4 **FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る**

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

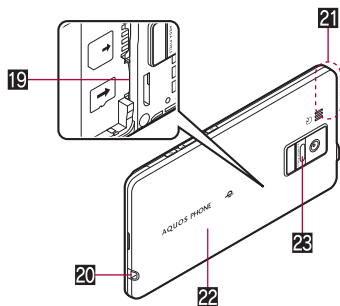
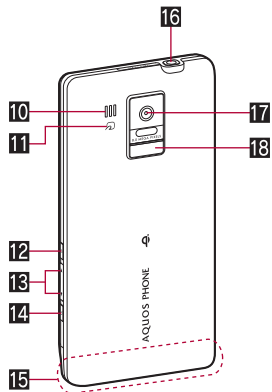
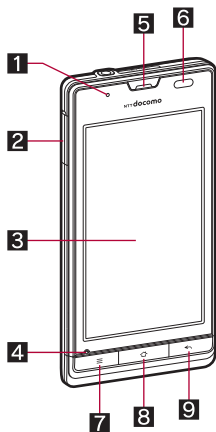
充電のとき

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、ワイヤレスチャージャー SH01に置いたり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、ワイヤレスチャージャー SH01を使用して充電することをおすすめします。

- FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 濡れた手で付属品、オプション品に触れないでください。感電の原因となります。
- 付属品、オプション品は、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

1 着信／充電ランプ
- 利用中の機能や状況によって、点灯／点滅するランプは異なります。

2 外部接続端子

3 ディスプレイ／タッチパネル
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

4 送話口／マイク

5 受話口

6 近接センサー／明るさセンサー
- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。
- センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼ったりしないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。

7 [≡]：メニューキー
- 利用できる機能（メニュー）を表示します。

8 [⌂]：ホームキー
- ホーム画面のメインページを表示します。

9 [↩]：戻るキー
- １つ前の画面に戻します。

10 スピーカ
- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

11 マーク
- ＩＣカードが搭載されています（取り外しはできません）。

12 ：電源キー
- スリープモードの設定／解除や、電源を入れる／切るときなどに利用します。

13 ／：音量UP／DOWNキー
- 各種機能で音量を調節します。

14 ：検索キー
- クイック検索ボックスを表示します。

15 FOMAアンテナ※

16 イヤホンマイク端子
- 対応するイヤホンマイクについてはhttp://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/earphone_support_sh-13c.htmlをご覧ください。

17 カメラ

18 モバイルライト

19 microSDカードスロット

20 ストラップ取り付け口
- ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを取り外してから、ストラップ取り付け口にストラップを通し、中のフックにストラップを掛けてリアカバーを取り付けてください。

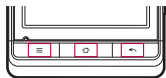
21 GPSアンテナ※

22 リアカバー

23 赤外線ポート

※アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

メニューキー、ホームキー、戻るキーについて

キーを押すときは、次の図の赤枠の部分を押してください。キーの端を押すと操作できないことがあります。

ドコモminiUIMカード

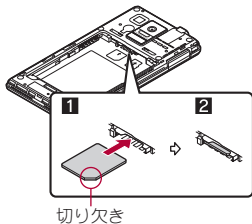
ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。

- ドコモminiUIMカードを取り付けないと、FOMA端末で電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- ドコモminiUIMカードは、対応端末以外ではご利用いただけないほか、ドコモUIMカードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用いただけなくなる場合があります。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 本FOMA端末ではFOMAカード、ドコモUIMカードはご使用になれません。FOMAカード、ドコモUIMカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。FOMA端末は、両手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

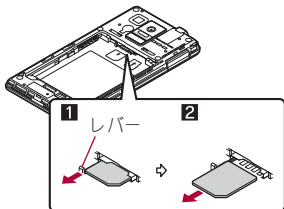
1 リアカバーを取り外す（☞P.23）

2 ドコモminiUIMカードのＩＣ（金色）面を下に向けて、ドコモminiUIMカードスロットにセットする（1）

- 奥まで差し込んでください（2）。

3 リアカバーを取り付ける（☞P.23）

■取り外しかた

1 レバーを引いて、ドコモminiUIMカードを引き出し（1）、ドコモminiUIMカードを上から押しながらまっすぐ引き抜く（2）

- 取り外す際は、ドコモminiUIMカードを落とさないようにご注意ください。

- レバーを無理に引っぱったり、力を加えたりすると、破損するおそれがありますのでご注意ください。

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりするとドコモminiUIMカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したドコモminiUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

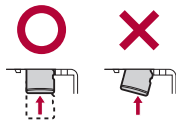
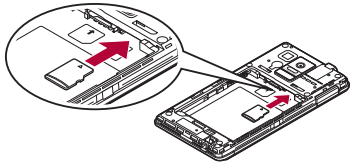
microSDカード

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末に取り込んだりすることができます。

- SH-13Cでは市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年９月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報についてはhttp://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/microsd_support_sh-13c.htmlをご覧ください。
  また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 利用できるファイルのサイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- FOMA端末にmicroSDカードを挿入した直後（FOMA端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、FOMA端末で初期化する必要があります。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できないことがあります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け／取り外し（マウント解除後を含む）は、電源を切って、背面を上向きにしてから行ってください。FOMA端末は、両手でしっかり持ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

■取り付けかた

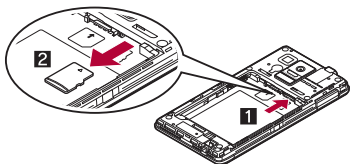
1 microSDカードの金属端子面を下に向けてゆっくりと挿入する

- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。

・「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

■取り外しかた

1 microSDカードを軽く押し込む（1）

・「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

2 microSDカードを取り外す（2）

・ゆっくりとまっすぐに取り外してください。

電池パック

● 電池パックは、本FOMA端末専用の電池パックSH29をご利用ください。
● 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、両手でしっかり持って行ってください。

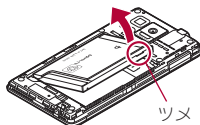
■取り付けかた

1 電池パックを取り付ける

・電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、FOMA端末の接続端子と電池パックの接続端子を合わせて取り付けてください。

■取り外しかた

1 電池パックを取り外す

・電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指をかけて上方向に取り外してください。

● 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 外部接続端子カバーの閉め忘れによる水や粉塵の侵入を防ぐため、付属のワイヤレスチャージャー SH01を使用して充電することをおすすめします（☞P.33）。
- ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）で充電するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01（別売）が必要です。

■ 充電時のご注意

- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタ、ワイヤレスチャージャーは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタ、ワイヤレスチャージャーからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、FOMA端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに１回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- １回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらゲームなどを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

■ ACアダプタ、DCアダプタ

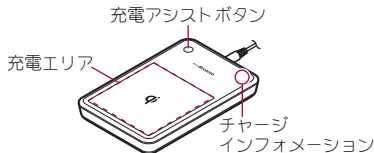
- 詳しくはFOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02／FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。

- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

ワイヤレスチャージャーで充電

- Qiマークがあるドコモ提供の対応機器をワイヤレスチャージャーで充電することができます。ご使用になる対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Qiマークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。

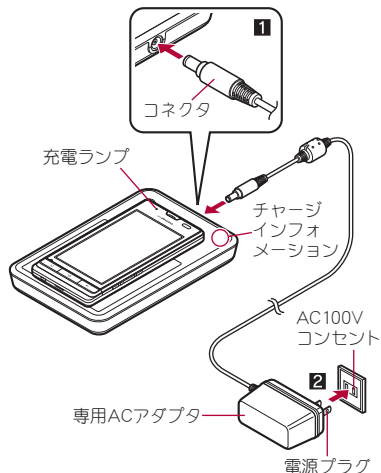
- 各部の名称は次のとおりです。

・充電アシストボタンは、充電が開始されない場合に、送電コイルを充電エリアの中央に移動し、充電開始させるためのボタンです。

1 専用ACアダプタのコネクタをワイヤレスチャージャーに差し込む（1）

- 奥まで確実に差し込んでください。
- 専用ACアダプタ以外は差し込まないでください。

2 専用ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む（2）

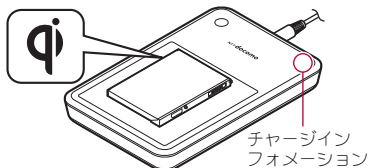
3 FOMA端末をワイヤレスチャージャーに置くと、充電ランプとチャージインフォメーションが点灯して、充電が開始する

- Qiマークがある面を下に向けてワイヤレスチャージャーのQiマークと電池パックの位置が重なるようにFOMA端末をゆっくりと置いてください。
- チャージインフォメーションは、ゆっくり点滅（約1秒間隔）したあと、充電が始まります。

4 充電ランプとチャージインフォメーションが消灯すると、充電が完了する

- FOMA端末をワイヤレスチャージャーから取り除いてください。

電池パックの充電

ワイヤレスチャージャーに電池パックを置いて、電池パックのみ充電することもできます。

- qiマークがある面を下に向けてワイヤレスチャージャーに置いてください。

- 安定した水平な場所にワイヤレスチャージャーを置いて充電してください。
- 長時間使用しないときは、専用ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ際や、FOMA端末／電池パックをワイヤレスチャージャーに置いたり、取り除いたりした際は、ワイヤレスチャージャーから音がする場合がありますが異常ではありません。
- 一度に複数のFOMA端末／電池パックを充電することはできません。
- 充電が開始されない場合は、充電エリアから取り外し、約2秒後に充電アシストボタンを押した後、対応機器を充電エリアの中央に置き直してください(取り外さず、中央に滑らせた場合は、充電アシストボタンは機能しませんのでご注意ください)。
- FOMA端末にカバーなどを装着していると、カバーなどの材質、厚みなどによっては充電できない場合があります。確実に充電するには、カバーなどから取り出してください。
- 使用中にテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、ワイヤレスチャージャーをテレビやラジオなどから遠ざけ、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ワイヤレスチャージャーの周辺で電子機器を使用すると充電できない場合があります。電子機器を使用する場合はワイヤレスチャージャーから30cm以上離してご使用ください。
- 充電中は、ワイヤレスチャージャーとFOMA端末／電池パックを動かさないでください。
- FOMA端末を充電するときはバイブレータを動作させないでください。振動によりFOMA端末の位置が動いたり、落下したりするおそれがあります。
- 市販のqiマークがある製品でFOMA端末を充電すると、充電中に着信しない場合があります。付属のワイヤレスチャージャー SH01で充電してください。

ACアダプタ／DCアダプタで充電

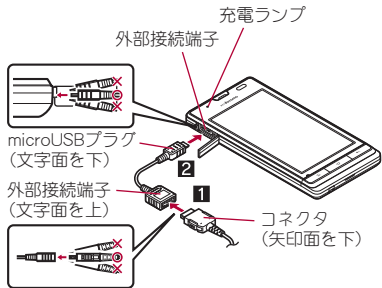
[必ずFOMA ACアダプタ01／02(別売)、FOMA DCアダプタ01／02(別売)の取扱説明書を参照してください]

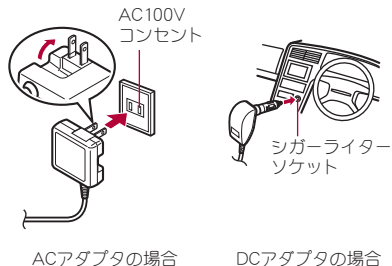
1 ACアダプタまたはDCアダプタをFOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01の外部接続端子に水平に差し込む(1)

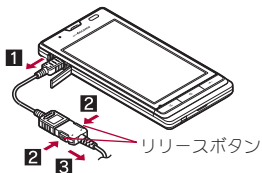
- コネクタの向き(表裏)をよく確かめ、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 FOMA端末の外部接続端子カバーを開き、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01のmicroUSBプラグを外部接続端子に水平に差し込む(2)

- microUSBプラグの向き(表裏)をよく確かめ、水平に差し込んでください。

- 次の図はFOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01の取り付け例です。

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む、またはDCアダプタの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する

ACアダプタの場合　　DCアダプタの場合

4 充電ランプが消灯すると、充電が完了する

- 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に抜いてください（1）。
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01からコネクタを取り外すときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押したまま（2）、コネクタを水平に抜いてください（3）。

- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグ、コネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です（DC12V･24V両用）。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。

- DCアダプタのヒューズ（２A）は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、FOMA DCアダプタ01／02の取扱説明書をご覧ください。

PC用microUSBケーブルで充電

FOMA端末の電源が入っているときに、FOMA端末とパソコンをPC用microUSBケーブル（試供品）で接続すると、FOMA端末を充電することができます。

- あらかじめ、パソコンにUSBドライバをインストールしておいてください。また、USB充電を有効にしておいてください。
  - USBドライバのインストールについては、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-13c/download/usb/index.htmlのPDF版「USBドライバインストールマニュアル」をご覧ください。

電源ON／OFF

■ 電源ON

1 **（２秒以上）**

■ 電源OFF

1 **（１秒以上）▶［電源を切る］▶［OK］**

■ スリープモード

を押したときやFOMA端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。
スリープモード中にを押すと、スリープモードが解除されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやスリープモードを解除したときはタッチパネルがロックされています。
［］をタッチしたまま上にスライドして［］に差し込むと、ロックが解除されます。

タッチパネルのロック解除画面のキー操作

- マナーモード設定／解除：（１秒以上）
- 電源を切る：（２秒以上）

基本操作

タッチパネルの操作

タッチパネル(ディスプレイ)を直接指で触り、操作を行うことができます。

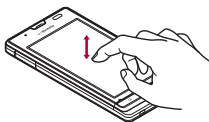
- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ■手袋をしたままでの操作
  - ■爪の先での操作
  - ■異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ■保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ■タッチパネルが濡れたままでの操作
  - ■指が汗や水などで濡れた状態での操作

■タッチ

画面に表示されるキーや項目をタッチして、選択・決定を行います。

1 タッチパネルに触れて、指を離す

■ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、画面をロングタッチするとメニューが表示されることがあります。

1 タッチパネルに触れたままにする

■スライド

メニュー表示中など、上下にスライドすると画面がスクロールします。また、メニューや項目に間違って触れたときは、メニューや項目から離れるようにスライドすると選択を中止できます。

1 タッチパネルに触れたまま、指を動かす

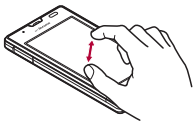
■すばやくスライド

ホーム画面などで左右にすばやくスライドすると、ページの切り替えができます。

1 すばやくスライドし、指を離す

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

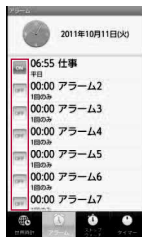
画像表示中などに2本の指の間隔を広げる／狭めると、画像の拡大／縮小ができます。

1 2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる／狭めるようにスライドする

機能利用中の操作

■ 設定の切り替え

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタッチすることで設定の有効／無効や[ON]／[OFF]を切り替えることができます。

例：省エネ設定画面、アラーム設定内容画面

- [☑]は有効、[☑]は無効の状態です。

■ メニューを呼び出す

[≡]を押したり画面をロングタッチしたりすると、その画面で利用できる機能（メニュー）が表示されます。

例：メモ帳画面

設定項目リスト

■ TapFlow UI

TapFlow UIは、電話帳、カメラ、ピクチャー利用中に[⧉]をタッチすると表示されるメニューです。

メニューの使用頻度に応じて表示されるメニューの種類や位置、大きさが変化していきます。

例：電話帳一覧画面の場合

■ 縦／横表示

FOMA端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。

- FOMA端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 利用中のアプリケーションによっては切り替わらない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます。

■ マルチアシスタント（マルチタスク）

機能を利用中に[⌂]を押すなどして利用を中断した場合、機能は終了せずにバックグラウンドで起動している状態となります。

マルチアシスタント（マルチタスク）を利用して、起動中の機能を一覧表示し、利用する機能を切り替えることができます。

1 **[⌂]（1秒以上）**

2 **利用する機能を選ぶ**

- 機能を終了：[⊗]
- 機能をすべて終了：[すべて終了] ▶ [はい]

FOMA端末内やサイトの情報の検索

1 **ホーム画面で[検索]**

2 **キーワードを入力**

3 **検索結果を選ぶ**

■ 音声検索を利用してサイトを検索

1 **クイック検索ボックスで[🎤]**

2 **キーワードを音声入力**

3 **キーワードを選ぶ**

初期設定

1 **ホーム画面で[⊜] ▶ [設定] ▶ [初期設定]**

2 **日付・時刻を設定 ▶ [次へ]**

3 **位置情報について設定 ▶ [次へ]**

4 **各項目を設定**

5 **[完了]**

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

■ 利用中のアクセスポイントを確認

1 **ホーム画面で[⊜] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]**

■ アクセスポイントを追加で設定

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **ホーム画面で[⊜] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] ▶ [≡] ▶ [新しいAPN]**

2 **[名前] ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ [OK]**

3 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ ☰ ▶ [保存]

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[⊜] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] ▶ ☰ ▶ [初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況の都合によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス(@docomo.ne.jp)を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

■ mopera Uの設定

1 ホーム画面で[⊜] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] ▶ [mopera U(スマートフォン定額)]／[mopera U 設定]

- mopera U設定はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- mopera U(スマートフォン定額)をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U(スマートフォン定額)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Wi-Fi設定

FOMA端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、FOMA端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- Wi-Fi機能を有効にしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親器の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]

2 項目を選ぶ

- ■ Wi-Fi:Wi-Fi機能を有効にします。
- ■ ネットワークの通知:Wi-Fiのオープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知します。
- ■ Wi-Fiのスリープ設定:Wi-Fiをスリープに切り替えるタイミングを設定します。
- ■ Wi-Fi簡単登録:AOSS／WPSに対応しているアクセスポイントをそれぞれの方式で登録します。
- ■ 公衆無線LAN自動ログイン:docomo Wi-Fiエリアに入ったときに、自動でログインするように設定できます。
- ■ Wi-Fiネットワークを追加:AOSS／WPSに対応していないアクセスポイントを手動で登録します。

- 「Wi-Fiネットワーク」の項目に接続可能なアクセスポイントが表示されます。利用するアクセスポイントを選ぶ▶[接続]で接続できます。
  - セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力してください。

[公衆無線LAN自動ログイン]について

- docomo Wi-Fiをご利用になるには別途ご契約が必要です。
- サービスエリアによっては、一部、自動ログイン機能をご利用になれない場合があります。
- 自動ログインを[ON]に設定すると、サービスエリアに入ったときに自動でログインします。Mzone日額プランをご契約のお客様は、自動ログインを[ON]に設定すると高額請求が発生する場合がありますのでご注意ください。

[Wi-Fiネットワークを追加]について

- セキュリティ設定としてWEP、WPA／WPA2 PSK、802.1xEAPに対応しています。

■ 切断

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]

2 接続しているアクセスポイントを選ぶ▶[切断]

- パスワードを保持したまま切断します。

- Wi-Fi機能を無効にして切断した場合、接続していたアクセスポイントに接続可能なときはWi-Fi機能を有効にすると自動的に接続されます。

Wi-Fiテザリング

本FOMA端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器を携帯電話回線を介してインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できるWi-Fi対応機器は5台までです。
- FOMAサービスの圏内で利用できます。ただし、通信環境やネットワークの混雑状況によっては利用できない場合があります。
- ドコモminiUIMカードを挿入していない場合や、FOMAサービスの解約や利用を休止している場合は利用できません。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[ポータブルアクセスポイント]

2 項目を選ぶ

■ ポータブルWi-Fiアクセスポイント：Wi-Fiテザリングを有効にします。
- ・ご利用の前に、注意事項の詳細をご確認ください。

■ ポータブルWi-Fiアクセスポイントの設定：ネットワークSSIDやセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- ・[Wi-Fiアクセスポイントを設定]▶各項目を設定▶[保存]でWi-Fiアクセスポイントを設定できます。必要に応じて、セキュリティを設定してください。セキュリティはWPA2 PSKに対応しています。

■ ヘルプ：ヘルプを表示します。

メールのアカウントの設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[メール]

2 メールアドレス、パスワードを入力▶[次へ]

3 アカウントの名前、あなたの名前を入力▶[完了]

- 最初に登録したアカウントが、自動的に優先して使用するアカウントとして登録されます。変更する場合は優先したいアカウントの優先アカウントにするを有効にしてください。
- アカウントを削除すると、削除したアカウントに届いたメールがすべて削除されます。保護されているメールがあるときは、アカウントを削除することはできません。

Googleなどのアカウントの設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[アカウントと同期]▶[アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

● 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[ブラウザ]**

2 **URL入力欄に「http://www.google.co.jp/」を入力▶[→]▶[ログイン]▶[アカウントにアクセスできない場合]▶画面に従って操作**

画面表示／アイコン

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、FOMA端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

● 表示されるアイコンには、次の2種類があります。

お知らせアイコン	ステータスバーの左側に表示され、不在着信や新着メールなどをお知らせします。
ステータスアイコン	ステータスバーの右側に表示され、現在の時刻や電池残量などFOMA端末の状態を表します。

■ 主なお知らせアイコン一覧

● 同じ種類のお知らせが複数ある場合は、お知らせアイコンに件数が重なって表示されます。

アイコン	内　容
(不在着信アイコン)	不在着信あり
(SMSアイコン)	新着SMSあり
(メールアイコン)	新着メールあり
(Gmailアイコン)	新着Gmailあり
talk	新着インスタントメッセージあり
⚠	エラー表示 ● 何らかのエラーが発生したときに表示されます。
(アラームアイコン)	アラーム終了 ● アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときに表示されます。
30	カレンダーの予定通知あり
▷	音楽再生中
(USBデバッグアイコン)	USBデバッグ接続中

アイコン	内　容
（緑色） （青色）	通話表示 （緑色）：発信中／着信中／通話中 （青色）：Bluetooth機器で通話中 ：保留中
	伝言メモあり
	留守番電話の伝言メッセージあり
	microSDカード表示 ：スキャン中 ：マウントを解除したとき
	FOMA端末のメモリの空き容量が少ないとき
	Bluetooth表示 ：Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり ：データ受信要求あり ：Bluetooth送信中 ：Bluetooth受信中 ：送信履歴あり ：受信履歴あり
	USB接続表示 ：USB接続（カードリーダーモード接続時） ：カードリーダーモード ：高速転送モード
	データアップロード／ダウンロード表示 ：アップロード中 ：アップロード完了 ：ダウンロード中 ：ダウンロード完了

アイコン	内　容
	アプリケーションのインストール完了
	Wi-Fi表示 ：オープンネットワークあり ：Wi-Fi情報通知あり ：Wi-Fi接続制限あり
	Wi-Fiテザリングが有効
	VPN表示 ：接続中 ：未接続
	アプリケーションのアップデートあり
	OSバージョンアップあり
	ソフトウェア更新表示 ：ソフトウェア更新あり ：ソフトウェア更新完了
	表示されていないお知らせアイコンあり

■主なステータスアイコン一覧

アイコン	内　容
	アラーム設定中
～	電池残量表示 ～：約100%～約５% ：約０% ：残量不明 ● 充電中は電池マークに[ ]が重なって表示されます。

アイコン	内　容
	電波状態表示 :レベル4 :レベル3 :レベル2 :レベル1 :レベル0 :圏外 ● 国際ローミング中は電波マークの左上に[R]が表示されます。
	電波OFFモード設定中
	3Gデータ通信状態表示 :3G使用可能 :3Gデータ受信中 :3Gデータ送信中 :3Gデータ送受信中
	GSMデータ通信状態表示 :GSM使用可能 :GSMデータ受信中 :GSMデータ送信中 :GSMデータ送受信中
	ドコモminiUIMカードが未挿入
	おサイフケータイ ロック設定中
	文字入力モード表示 :ひらがな漢字 :全角カタカナ :半角カタカナ :全角英字 :半角英字 :全角数字 :半角数字 :区点コード

アイコン	内　容
	マナーモード表示 :通常マナー :ドライブマナー :サイレントマナー
	スピーカで通話中
	マイクOFFに設定中
	Wi-Fi電波状態表示 :レベル4 :レベル3 :レベル2 :レベル1 :レベル0
	Bluetooth表示 :待機中 :接続中
	GPS測位中
	データ同期中
	伝言メモ表示 :伝言メモ設定中で伝言メモが0件 :伝言メモ設定中で伝言メモが1～9件 :伝言メモ設定中で伝言メモが10件
(緑色) (青色)	ホームネットワーク表示 :停止中 (緑色):準備中 (青色):動作中

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーをタッチ

1 設定パネル

- Wi-Fi、Bluetooth、GPS機能を使用、自動同期、画面の明るさを設定できます。

2 お知らせアイコン詳細情報

- 対応するアプリケーションがある場合、詳細情報をタッチしてアプリケーションを起動できます。

3 ステータスアイコン詳細情報

- 対応するアプリケーションがある場合、詳細情報をタッチしてアプリケーションを起動できます。

4 閉じるバー

- タッチするか、タッチしたまま上にスライドすると、ステータスパネルを閉じることができます。

5 マナーモード

- マナーモードを設定できます。

6 ベールビュー

- ベールビューを設定できます。

7 自動画面回転

- FOMA端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦／横表示を切り替えるかを設定します。

8 microSD設定

- microSDカードの空き容量の確認や、バックアップの管理などができます。

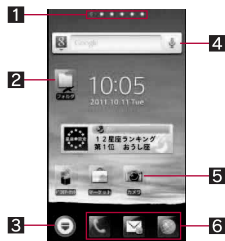
9 起動中アプリ

- 起動中の機能を一覧表示します。

ホーム画面

ホーム画面の見かた

FOMA端末の電源を入れると、ホーム画面が表示されます。ウィジェットを貼り付けたり、ショートカットやクイックメニューを選択してアプリケーションを起動したりすることができます。

- 各ページにそれぞれショートカット、ウィジェットなどを貼り付けることができます。

1 インジケータ

- 表示しているページを表します。

2 フォルダ
- フォルダを貼り付けると、フォルダ内のデータをすばやく表示したり、ショートカットをフォルダに格納したりできます。

3 アプリケーション画面表示
- タッチすると、アプリケーション画面を表示します。

4 ウィジェット
- ウィジェットを貼り付けると、カレンダーや方位計など、簡単な機能を利用できます。
- Webページウィジェットを貼り付けると、よく使うサイトにすばやく接続できます。
- FOMA端末では、Android標準のウィジェットに対応しています。

5 ショートカット
- ショートカットを貼り付けると、よく使うアプリケーションをすばやく起動できます。

6 クイックメニュー
- ショートカットを貼り付けると、すばやくアプリケーションを起動できます。

- ホーム画面で2本の指の間隔を広げる／狭めると、ホーム画面一覧を表示します。

ページの管理

■ページの追加

1 ホーム画面で[≡]▶[ホーム画面一覧]▶[＋]

■ページの並べ替え

1 ホーム画面で[≡]▶[ホーム画面一覧]▶サムネイルをロングタッチ

2 サムネイルをタッチしたまま移動先までスライド

■ページの削除

1 ホーム画面で[≡]▶[ホーム画面一覧]▶サムネイルをロングタッチ

2 [削除]

クイックメニューの管理

■クイックメニューの作成

1 ホーム画面でショートカットをロングタッチ

2 ショートカットをタッチしたままクイックメニューの位置までスライド

■クイックメニューの移動

1 クイックメニューをロングタッチ

2 クイックメニューをタッチしたまま移動先までスライド

■クイックメニューの削除

1 クイックメニューをロングタッチ

2 [削除]

ホーム画面の管理

1 ホーム画面で[≡]▶[追加]

2 追加する項目を選ぶ

- ■ショートカット：アプリケーションへのショートカットを貼り付けます。
- ■ウィジェット：ウィジェットを貼り付けます。
- ■フォルダ：フォルダを貼り付けます。
- ■壁紙：ホーム画面の画像を設定します。

- ■ グループ：グループへのショートカットを貼り付けます。
- ■ Webページ：Webページウィジェットを貼り付けます。

■ ショートカットなどの移動

1 **ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ**

2 **ショートカットなどをタッチしたまま移動先までスライド**

- ページの端までスライドして停止すると、前／次のページが表示され、前／次のページに移動できます。

■ ショートカットなどの削除

1 **ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ**

2 **［削除］**

■ フォルダ名の変更

1 **ホーム画面でフォルダをロングタッチ**

2 **［名称変更］**

3 **フォルダ名を入力▶［OK］**

アプリケーション画面

アプリケーション画面の見かた

アプリケーション画面には、搭載されているアプリケーションがグループごとにアイコンで表示されます。アイコンを選んで、アプリケーションを起動することができます。

1 グループ名
2 アプリケーションアイコン
3 アプリケーション数

- グループをタッチすると、グループ内のアプリケーションアイコンを表示／非表示します。また、アプリケーション画面で２本の指の間隔を広げる／狭めると一括してグループ内のアプリケーションアイコンを表示／非表示します。

アプリケーション一覧

アプリケーションは機能や種類ごとにグループで分類されています。

ドコモサービス

アイコン	アプリケーション	概　要
	ドコモマーケット	アプリケーションも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます（☞P.57）。

アイコン	アプリケーション	概要
	ｉチャネル	天気やニュースなどさまざまな情報を配信します。自動的に受信した最新の情報が待受画面のウィジェット上に表示されます。 ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。
	メロディコール	電話をかけてきた相手にお好みのメロディを聴かせるサービスです。メロディコールの楽曲試聴、購入、設定ができます。 メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。

基本機能

アイコン	アプリケーション	概要
	電話	電話を利用します（☞P.63）。
	電話帳	電話帳を利用します（☞P.65）。

アイコン	アプリケーション	概要
	電話帳バックアップ※	電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。 ● 電話帳バックアップの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。
	電話帳コピーツール	microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。
	声の宅配便※	声の宅配便は、音声電話でメッセージを録音し、録音されたことを相手にSMSで通知するサービスです。 本アプリケーションを利用することで、簡単に声のメッセージを録音、再生することができます。
	spモードメール※	ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます（☞P.68）。
	メール	メールを利用します（☞P.68）。

アイコン	アプリケーション	概　要
	Gmail	Gmailを利用します（☞P.68）。
	エリアメール	気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができます（☞P.69）。
	メッセージ	SMSを利用します（☞P.68）。
	トーク	Googleトークを利用します。GoogleトークはGoogleのインスタントメッセージサービスです。Googleトークを利用するとFOMA端末やサイト上で、他の利用者とリアルタイムでコミュニケーションをとることができます。
	取扱説明書※	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます（☞P.1）。
	ブラウザ	パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを表示します（☞P.69）。
	検索	クイック検索ボックスを利用します（☞P.39）。
	音声検索	音声検索を利用してサイトの情報を検索します（☞P.39）。
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。

アイコン	アプリケーション	概　要
	マーケット	Androidマーケットを利用します（☞P.56）。
	VirusScan（ドコモ　あんしんスキャン）※	インストールしたアプリケーションやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出し、スマートフォンをウイルス被害から守ります。

エンターテイメント

アイコン	アプリケーション	概　要
	BOOKストア 2Dfacto※	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。
	書籍・コミック E★エブリスタ※	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザーの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。 プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。
	GALAPAGOS App for Smartphone	新聞・雑誌・書籍などの電子書籍を購入、閲覧できるアプリケーションです。
	BeeTV※	BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。

アイコン	アプリケーション	概　要
	YouTube	YouTubeを利用します。YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。
	SH m2U	millmo Media Player for SHを利用します。FOMA端末内の音楽や動画を管理・再生したり、サイト上の動画コンテンツなどを再生したりできます。
	Gガイド番組表※	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリケーションです。キーワードやジャンルによる番組検索も可能です。
	Twitter	Twitterのクライアントアプリケーションです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
	mixiSH	mixi（ミクシィ）を利用します。mixiを利用すると、日記の投稿、写真のアップロード、ボイスの投稿など、さまざまなサービスで友人・知人とのコミュニケーションをとることができます。

アイコン	アプリケーション	概　要
	Twonky Mobile Special※	FOMA端末内やインターネット上の動画・写真・音楽を、ホームネットワーク対応のテレビやオーディオにワイヤレス再生することができます。インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。
	Smart Familink	FOMA端末とホームネットワーク機能対応テレビ「AQUOS」をWi-Fiネットワークにつなぐことで、FOMA端末内の動画・静止画・音楽などを「AQUOS」で視聴したり、FOMA端末の着信や新着メールの情報を「AQUOS」に表示したりすることができます（☞P.75）。また、ホームネットワーク機能対応の「AQUOSブルーレイ」をWi-Fiネットワークにつなぐことで、「AQUOSブルーレイ」で録画したテレビ番組をFOMA端末で視聴することができます。 ●「AQUOSブルーレイ」の録画設定や通信機器によっては、スムーズに視聴できない場合があります。

アイコン	アプリケーション	概　要
	ミュージックプレーヤー	音楽を再生します（☞P.73）。
	レコチョク※	音楽データをダウンロードできます。
	mora touch※	音楽データをダウンロードできます。
	music.jp for SH	音楽データをダウンロードできます。
	オリ★スタ※	オリ★スタを閲覧できるアプリケーションです。
	ピクチャー	画像や動画を人物ごと、イベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます（☞P.72）。
	ギャラリー	画像を表示します（☞P.72）。
	UkiUkiView	UkiUkiViewを利用します。カメラモードで撮影した場所や地図モードで表示された場所の位置情報に登録されているUkiUki玉（コメント）や店舗情報が表示され、その場所に関する情報を見ることができます。また、自分でUkiUki玉を投稿し、位置情報に情報を登録することもできます。
	モシモカメラ	さまざまなエフェクトを付けて静止画／動画を撮影します。
	Mobage※	大人気ゲームを楽しめるMobage（モバゲー）のアプリケーションです。
	バトステZ※	AR機能で怪獣を探して、怪獣退治を行うゲームです。

便利ツール

アイコン	アプリケーション	概　要
	カメラ	静止画を撮影します（☞P.71）。
	ビデオカメラ	動画を撮影します（☞P.72）。
	地図アプリ※	ドコモ地図ナビが提供する地図・ナビ・乗換などの機能で、お出かけをサポートするアプリケーションです。トライアル期間は無料で利用可能です。
	マップ	Googleマップを利用します。Googleマップを利用すると、現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

アイコン	アプリケーション	概　要
	ナビ	Googleマップ ナビを利用します。Googleマップ ナビを利用すると、現在地から目的地までのルートを検索することができます。
	方位計	現在地や方位を確認します。
	プレイス	Googleプレイスを利用します。Googleプレイスを利用すると、現在地周辺の施設をジャンル別に検索することができます。
	Latitude	Google Latitudeを利用します。Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。
	Evernote※	EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、さまざまな情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。 情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。 ● 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。

アイコン	アプリケーション	概　要
	電卓	電卓を利用します。
	撮る家計簿 Photoマネー	レシートをカメラで撮影するだけで、日付や店舗、金額、品目など、レシートに記載されている内容を簡単に入力できる家計簿アプリケーションです。
	時計	世界時計、アラーム、ストップウォッチ、タイマーを利用します。
	読取カメラ	バーコードリーダー、名刺リーダー、ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ、テキストリーダー、お店情報リーダーを利用できます。
	カレンダー	予定を管理します。
	メモ帳	メモを登録します。
	赤外線送受信	赤外線通信でデータを送受信します。
	歩数計	歩数計を利用します。
	辞書	辞書を利用します。

アイコン	アプリケーション	概　要
	ニュースと天気	ニュースと天気を利用します。現在地の天気予報やカテゴリごとのニュースを確認することができます。 ● 位置情報を手動で設定する場合、日本国内の都市名はローマ字で入力してください。郵便番号を入力するときは、郵便番号のあとにスペースと「jp」または「Japan」を入力してください。
	ボイスレコーダー	ボイスレコーダーを利用します。
	Documents To Go	Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや Microsoft PowerPointファイルなどを表示することができます。
	Adobe Reader	PDFファイルを表示することができます。
	コンテンツマネージャー	microSDカードに保存されたデータを管理します(☞P.73)。
	メーカーアプリ	シャープのサイトに接続します。

おサイフケータイ／ショッピング

アイコン	アプリケーション	概　要
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます。
	iD設定アプリ	iDは、お店の読み取り機にかざすだけでお支払いができる電子マネーです。 簡単な設定ですぐにiDが使えます。
	トルカ※	店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。
	楽天オークション※	楽天オークションに出品されている、人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
	楽天 gateway	楽天市場などの各種サービスを利用することができます。
	イネスシークレット※	イネス・リグロン監修、女性の外見と内面を輝かせるためのアプリケーションです。 レッスン映像、ワークブック、食事日記、体重管理機能で「美」を応援します。
	マクドナルド※	マクドナルドの会員向けクーポンや店舗検索機能が使えるアプリケーションです。

アイコン	アプリケーション	概　要
	Amazon JP	Amazonのサイトに接続して、書籍や家電などさまざまな商品を購入することができます。

設定

アイコン	アプリケーション	概　要
	設定	FOMA端末の各種設定をします。 ● ホーム画面で[≡]▶[本体設定]と同様の設定操作ができます。
	ドコモ海外利用※	海外でのパケット通信の利用や海外パケット定額サービスの設定・確認をサポートします。
	ホーム切替	ホームアプリをdocomo Palette UIやホーム、ラウンドホームに切り替えます。

※はじめてご利用される際にはアプリケーションをダウンロードする必要があります。アプリケーションのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

グループの管理

■グループの追加

1 **ホーム画面で[⊜]▶[≡]▶[グループ追加]**

2 **グループ名を入力▶[OK]**

■グループの並べ替え

1 **ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ**

2 **グループをタッチしたまま移動先までスライド**

■グループ名の編集

1 **ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ**

2 **[名称変更]▶グループ名を入力▶[OK]**

■グループ色の変更

1 **ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ**

2 **[色変更]▶色を選ぶ**

■グループの貼付

1 **ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ**

2 **[ホームへ追加]**

■グループの削除

1 **ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ**

2 **[削除]▶[OK]**

アプリケーションアイコンの管理

■アプリケーションアイコンの移動

1 ホーム画面で[⊜]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [移動]▶グループを選ぶ

■ショートカットの貼付

1 ホーム画面で[⊜]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [ホームへ追加]

■アプリケーションのアンインストール

1 ホーム画面で[⊜]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [アンインストール]▶[OK]

アプリケーション画面の表示切替

1 ホーム画面で[⊜]▶[≡]▶[リスト表示]／[タイル表示]

マーケット

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスしてFOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめバックグラウンドデータを有効にしてください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[マーケット]

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリケーションのインストール

1 Androidマーケット画面でダウンロードするアプリケーションを選ぶ▶[無料]▶[OK]

- アプリケーションのインストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

アプリケーションの購入

- 有料のアプリケーションをダウンロードする場合は、Google Checkoutアカウントを作成してアプリケーションを購入する必要があります。

1 Androidマーケット画面で購入するアプリケーションを選ぶ▶価格をタッチ▶[OK]

- アプリケーションの初回購入時は、Google Checkout支払い請求サービスにログインする必要があります。
- アプリケーションの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Androidマーケット画面で[≡]▶[ヘルプ]▶[アプリケーションの購入]の各項目をご覧ください。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリケーションは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Androidマーケットからのアプリケーションの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■アプリケーションのアンインストール

1 Androidマーケット画面で[マイアプリ]

2 アンインストールするアプリケーションを選ぶ▶[アンインストール]▶[OK]

3 質問フォームに回答する▶[OK]

ドコモマーケット

ドコモマーケットでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ドコモマーケット]

- ドコモマーケットのご利用には、パケット通信(3G／GPRS)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- ドコモマーケットへの接続およびドコモマーケットで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。
- ドコモマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本サイト上に掲載されている著作物(文書・写真・イラスト・動画・音声・ソフトウェアなど)の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

文字入力

キーボードの切替

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを押すたびに文字が切り替わります。 ● 文字入力キーをタッチしたまま上下左右にスライドして、すばやく文字を入力することもできます。

1 文字入力画面で[🔧]▶[キーボード切替(縦画面)]/[キーボード切替(横画面)]

キーボードの見かた

QWERTYキーボード

12キーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 文字入力キー
- 文字や数字を入力します。
- 文字入力キーは入力モードや大文字／小文字の設定に応じて表示が切り替わります。

2 英字／シフトキー
- ひらがな漢字入力モードのときは、タッチすると半角英字を入力できます。
- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。大文字／小文字を切り替えると、入力できる記号も変わります。

3 文字キー
- 入力モードを変更するときにタッチします。

4 削除キー
- カーソル左側の文字を消します。カーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、文字にカーソルがあたっている場合はカーソル位置の文字を消します。

5 エンターキー
- 入力した文字を確定または改行します。

6 記号キー
- 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。

7 設定／変換キー
- 設定メニューを表示します。
- 入力した文字を変換します。

8 カーソルキー
- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

9 逆トグル／Undoキー
- 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
- 直前に行った操作を取り消します。

文字入力のしかた

例：「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力

- 表示された変換候補を入力：候補をタッチ
- ひらがなのまま確定：[確定]

2 [変換]

- 変換候補欄を広げる／元に戻す：[↕]／[↕]

3 「文字」を選ぶ

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ、iWnn IME - SH editionのワイルドカード予測を有効にしてください。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのとき利用できます。

例：「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [➡] ▶ [➡] ▶ [➡]

- [➡]をタッチするたびに[＊]が入力され、文字数に合わせた予測変換候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 入力モードの切替

入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

1 文字入力画面で文字キーをロングタッチ

- 文字キーをタッチすると、ひらがな漢字→半角英字→半角数字の順に、入力モードが切り替わります。

2 入力モードを選ぶ

■ 絵文字／記号／顔文字の入力

- アプリケーションによって、利用できない文字は入力できません。

1 文字入力画面で記号キー

2 絵文字／記号／顔文字を選ぶ

■ 区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で文字キーをロングタッチ ▶ [区点コード]

2 区点コードを入力

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

- あらかじめ、iWnn IME - SH editionの音声入力を有効にしてください。

1 文字入力画面で[🔧] ▶ [音声入力] ▶ [OK]

2 送話口に向かって話す

■ 手書き入力

手書きで文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[🔧] ▶ [手書き入力]

2 文字入力部分に文字･記号を手書き入力

- 表示された候補を入力：候補をタッチ

■ 文字入力時の便利な機能

入力した文字の切り取りやコピー、貼り付けなどができます。

1 文字入力欄をロングタッチ

2 利用する機能を選ぶ

暗証番号

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用のロックNo.のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- ロックNo.(各種機能用の暗証番号)、PINコード入力時は、[･]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ ロックNo.(各種機能用の暗証番号)

ロックNo.は、お買い上げ時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ロックNo.の入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

■ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字４桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

- 「My docomo」については、本書の裏表紙の裏面をご覧ください。

■PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は［0000］に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する４～８桁の暗証番号です。

PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は［0000］となります。
- PINコードの入力を３回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモminiUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PINロックの解除

1 **PINロック中画面でPINロック解除コードを入力▶［OK］**

2 **新しいPINコードを入力▶［OK］**

3 **もう一度、新しいPINコードを入力▶［OK］**

電話

電話

電話をかける

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。

3 [発信]

4 通話が終わったら[通話終了]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では、PINコードの入力画面やPINロック解除コードの入力画面、またドコモminiUIMカードが完全にロックされた状態では、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

電話を受ける

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 着信中に▲／▼を押すと、着信音やバイブレータを止めることができます。

2 [📞]をタッチしたまま右にスライド

- バックライト点灯中(タッチパネルのロック解除画面表示中を除く)に着信があった場合は、[応答]をタッチします。
- 保留：[⌒]をタッチしたまま左にスライド

3 通話が終わったら[通話終了]

■ 着信拒否

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 ☰ ▶ [着信拒否]

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。

1 消音／消音解除
- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

2 メモ起動

3 音声メモ起動

4 数字キー呼出し

5 電話帳表示

6 スピーカー／スピーカーOFF
- ハンズフリーで通話ができます。

■ 通話音量調節

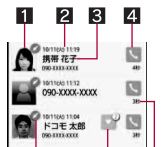
1 通話中に▲／▼

発信履歴／着信履歴

最新の履歴からそれぞれ100件までFOMA端末に記憶されます。

1 ホーム画面で[⊜] ▶ [電話] ▶ [発信履歴]／[着信履歴]

- 電話帳に登録：履歴をロングタッチ ▶ [電話帳に登録] ▶ [新規]／[追加] ▶ 電話番号種別を選ぶ ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]
  - ・[新規]を選択した場合は、登録するアカウントを選んでください。
  - ・[追加]を選択した場合は、追加する電話帳を選んでください。
- 発信履歴／着信履歴の全件削除：☰ ▶ [全件削除] ▶ ロックNo.を入力 ▶ [OK] ▶ [OK]
  - ・[電話帳の発信履歴も削除]または[電話帳の着信履歴も削除]を有効にすると、電話帳の発信履歴／着信履歴も削除されます。
- 発信履歴／着信履歴の1件削除：履歴をロングタッチ ▶ [削除] ▶ [OK]

発信履歴一覧画面

着信履歴一覧画面

1 画像
- 発着信相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。

2 発着信日時

3 相手の名前／電話番号

4 発信アイコン
- タッチすると発信します。

5 グループアイコン
- タッチするとまとめられた履歴が表示されます。「186」や「184」を付けて電話をかけたときも同じグループとしてまとめられます。

6 着信ステータスアイコン

（緑色）	電話に応答したもの
	着信鳴動時間が３秒以内で電話に応答しなかったもの
	着信を拒否したもの
（赤色）	電話に応答しなかったもの、転送したもの、伝言メモ機能で用件を録音したもの

7 通話時間／着信鳴動時間

2 **履歴を選ぶ**

電話帳

電話帳の登録

1 **ホーム画面で［⊝］▶［電話帳］▶ ≡ ▶［新規登録］**

2 **登録するアカウントを選ぶ**

3 **各項目を設定▶［保存］▶［はい］**

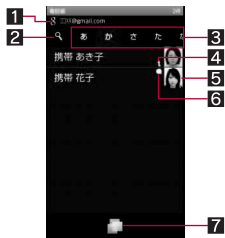
- ■ 画像（顔）、画像（全身）：発着信時や電話帳確認時に表示する画像を登録します。
- ■ 姓、名：名前を入力します。ふりがなも編集できます。
- ■ 電話番号：電話番号を登録できます。
- ■ メール：メールアドレスを登録できます。
- ■ mixi：mixiのマイミクシィ情報を登録します。
- ■ Twitter：Twitterでフォローしている相手の情報を登録します。
- ■ チャット：チャットアドレスを登録できます。
- ■ グループ設定：グループに分けて登録できます。
- ■ その他：その他の情報を登録します。登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。
- ［☆］を選択すると、優先的に表示する電話番号／メールアドレスを指定します。

電話帳の確認

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 **ホーム画面で［⊝］▶［電話帳］**

- アカウントの切替：≡ ▶［設定］▶［アカウント切替］▶アカウントを選ぶ

- 電話帳の削除：電話帳をロングタッチ▶［削除］▶［はい］

電話帳一覧画面

1 アカウント
- 呼び出している電話帳のアカウントを表示します。

2 検索アイコン
- 文字を1文字ずつ入力して、最も近い電話帳を順次表示できます。

3 タブ
- 50音の行と英字とその他のタブが表示されます。

4 統合アイコン
- 複数の電話帳を統合した電話帳に表示されます。

5 画像（顔）

6 吹き出しアイコン
- 相手から24時間以内に着信やmixi／Twitterなどのメッセージがある場合に表示します。タッチすると通知の内容を吹き出しで表示します。吹き出しをタッチすると相手とのやりとりを確認できます。

7 TapFlow起動
- TapFlow UI（☞P.38）を表示します。

2 名前を選ぶ

電話帳詳細画面

1 画像（全身）

2 ピクチャー欄
- ピクチャーの人物カテゴリに分類されたデータが表示されます。

3 登録内容
- 登録内容を確認／利用できます。

4 吹き出し
- 相手からの着信やmixi／Twitterなどのメッセージを表示します。タッチすると相手とのやりとりを確認できます。

5 優先表示アイコン
- 優先的に表示する電話番号／メールアドレスに表示されます。

6 アクションアイコン
- 相手に電話をかけたり、メールを作成したりできます。

7 TapFlow起動
- TapFlow UI（☞P.38）を表示します。

吹き出しについて

- 発信履歴／着信履歴は「電話」アプリケーションから削除できます（☞P.64）。

各種設定

設定メニュー

ホーム画面で[⊜]▶[設定]で表示されるメニューから、FOMA端末の各種設定を行うことができます。

設　定	内　容
プロフィール	ドコモminiUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。
省エネ設定	電池の消費を抑えるための設定を行います。
無線とネットワーク	Wi-FiやBluetooth機能、Wi-Fiテザリングなど、通信について設定します。
通話設定	留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。
サウンド設定	マナーモードや着信音などについて設定します。
画面設定	画面表示などについて設定します。
USB接続	FOMA端末をPC用microUSBケーブル（試供品）でパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。
位置情報とセキュリティ	セキュリティロックや位置情報の取得方法について設定します。
アプリケーション	アプリケーションを管理します。
アカウントと同期	FOMA端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、FOMA端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。
プライバシー	FOMA端末内のすべてのデータを消去します。
microSDと端末容量	microSDカードの空き容量の確認や、バックアップの管理などができます。
言語とキーボード	画面に表示される言語や、文字入力について設定します。
音声入出力	音声入力やテキスト読み上げについて設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
歩数計設定	ユーザー情報の登録など歩数計について設定します。
日付と時刻	日時の設定や日時の表示形式について設定します。
端末情報	端末情報の確認ができます。
初期設定	初期設定を変更できます。

メール／インターネット

メール

mopera Uなどのサービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください（☞P.42）。

1 ホーム画面で[⊜]▶[メール]

2 ▶[作成]

3 宛先、件名、本文を入力▶[送信]

- ファイルの添付：▶[添付ファイルを追加]▶ファイルを選ぶ

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[spモードメール]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。

- Gmailの詳細については、Gmailサイトをご覧ください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[Gmail]

2 ▶[新規作成]

3 宛先、件名、本文を入力▶[ ]

SMS

電話番号を利用して、他の端末へ全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[メッセージ]

2 [新規作成]▶宛先、本文を入力▶[送信]

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールが送られてきたときは自動的に受信し、スリープモード中や画面ロック設定中にかかわらず内容を表示します。
- FOMA端末の状態によっては、受信できないことや自動表示しないことがあります。
- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると、専用着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

■受信したエリアメールをあとで確認する

1 ステータスバーをタッチ ▶ 受信したエリアメールを選ぶ

- ホーム画面で[㊀]▶[エリアメール]でも確認できます。

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で[㊀]▶[エリアメール]

2 [≡]▶[緊急速報「エリアメール」設定]▶項目を選ぶ

- 緊急地震速報のブザー音や災害・避難情報の専用着信音、着信音量、バイブレータの設定は変更できません。

ブラウザ

サイトの表示

本FOMA端末では、パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを表示できます。

1 ホーム画面で[㊀]▶[ブラウザ]

マルチメディア

カメラ

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。

著作権・肖像権について

お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などをすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

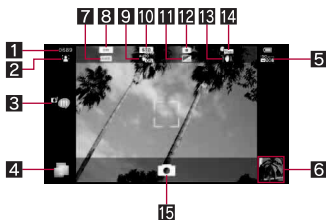
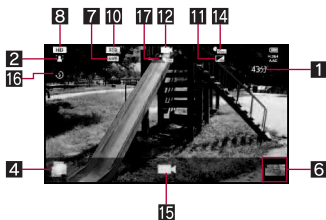
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■カメラを使用中の動作について

- 各カメラモード起動中は撮影ランプが点滅します。
- 各カメラモード起動中に約３分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了します。未保存のデータは保存され、読み取り結果は削除されます。ただし、静止画撮影の場合、未保存のデータがあるときはカメラモードは終了しません。
- 各カメラモード起動中にモバイルライトを計３分間点灯すると、点灯できなくなります。再度点灯する場合は、各カメラモードを終了して、もう一度起動してください。

- シャッター音の音量は変更できません。

■ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

1 撮影可能枚数／時間表示
- 撮影をしても、撮影可能枚数／時間の表示が変わらない場合があります。

2 フォーカス設定

3 ブログモード
- ブログモード設定のアップロード先設定を[mixiSH]または[Twitter]に設定しているときは、タッチするとアプリケーションを起動します。

4 TapFlow起動
- TapFlow UI（☞P.38）を表示します。

5 ISO感度

6 サムネイル
- 自動保存設定が[ON]のときに撮影すると表示されます。タッチすると、撮影した静止画／動画を表示することができます。

7 ホワイトバランス

8 撮影サイズ

9 保存設定

10 シーン設定

11 画質

12 カメラモード

13 手ぶれ補正

14 セルフタイマー

15 シャッター

16 モバイルライト
- モバイルライトのON／OFFを切り替えます。

17 自動保存設定

カメラ

静止画を撮影します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[カメラ]
- 位置情報についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する]／[同意しない]を選択してください。
- 明るさの調整：上下にスライド
- ズーム：左右にスライド
- フォーカスロック：被写体をタッチ
  - フォーカス枠以外をタッチすると解除されます。
- All Menuの表示：[≡]

2 [📷]
- シャッター音が鳴ります。
- 保存設定の自動保存設定が[ON]のときは、操作完了となります。

3 [保存]

ビデオカメラ

動画を撮影します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ビデオカメラ]

- 明るさの調整：上下にスライド
- ズーム：左右にスライド
- All Menuの表示：[≡]

2 [ ]

- 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。

3 撮影を止めるときは[ ]

- 撮影停止音が鳴り、撮影が停止されます。
- 自動保存設定が[ON]のときは、操作完了となります。

4 [保存]

- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、残時間があっても撮影が自動的に停止するときがあります。

自動保存設定

撮影した静止画や動画を自動的に保存するかどうかを設定します。

1 静止画撮影画面で[≡]▶[保存設定]▶[自動保存設定]

- ビデオカメラのとき：動画撮影画面で[≡]▶[自動保存設定]

2 設定を選ぶ

ギャラリー

静止画や動画を表示できます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ギャラリー]

2 データを選ぶ

ピクチャー

画像や動画を人物ごと、イベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ピクチャー]

2 カテゴリ／データを選ぶ

- ファイルが表示されない場合は、ピクチャーのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。microSDカードを挿入したFOMA端末とパソコンをPC用microUSBケーブル（試供品）で接続して、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥PM¥DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成された人物などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。
- 以前に作成したピクチャーのデータベースファイルがある場合、データベースファイルを変換する旨の確認画面が表示されます。データベースファイルを変換すると、SH-13Cで作成したデータベースファイルは削除されます。

ミュージックプレーヤー

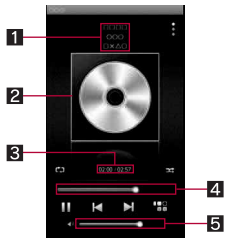
microSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生します。また、メールやブラウザなどを利用しながらバックグラウンドで音楽を再生することができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ミュージックプレーヤー]

- 画面下部のカテゴリを選択すると、選択したカテゴリのデータが表示されます。

2 データを選ぶ

- 再生音量調節：▯／▯

■ミュージック再生画面の見かた

1 アルバム名／曲名／アーティスト名／ジャンル
2 ジャケット画像
3 再生時間／総再生時間
4 シークバー
5 音量バー

■ミュージック再生画面の主なタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[⏮]※／[⏭]	前／次のデータを再生
[▷]／[▯▯]	再生／一時停止
[▦]	ミュージック一覧画面の表示
[🔁]	リピート
[🔀]	シャッフル

※ 再生経過時間が約1秒以上のときは頭出しになります。

- 次のタッチ操作ができます。

表示切替	上下にすばやくスライド
再生位置変更	シークバーをタッチ

コンテンツマネージャー

microSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[コンテンツマネージャー]

- 画面下部のカテゴリを選択すると、選択したカテゴリのデータが表示されます。対応するアプリケーションがインストールされている場合、データを選択すると表示することができます。
- 対応するアプリケーションが複数存在する場合、アプリケーション選択画面が表示されることがあります。アプリケーションを選択すると表示します。

外部機器接続

microSDリーダーライター

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 **FOMA端末をPC用microUSBケーブル(試供品)でパソコンに接続する**

2 **ステータスバーをタッチ▶[USB接続]**

3 **[USBストレージをONにする]▶[OK]**

4 **microSDリーダーライターとして利用する**

5 **利用が終わったら、パソコンでハードウェアの安全な取り外しを行う**

6 **[USBストレージをOFFにする]**

7 **FOMA端末からPC用microUSBケーブルを取り外す**

- microSDリーダーライターとして利用中は、電波OFFモードが有効になります。

ブルーレイディスクレコーダー連携

ブルーレイディスクレコーダーに録画した動画をmicroSDカードに転送して再生できます。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末をPC用microUSBケーブル(試供品)で接続し、動画を転送します。ブルーレイディスクレコーダーに接続し、USB接続モードを[カードリーダーモード]に設定してください。接続方法は、FOMA端末とパソコンなどを接続する方法と同様です。動画を転送する操作方法はブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末を、PC用microUSBケーブルを使って接続するときは、ホーム画面を表示させておいてください。

ホームネットワーク設定

Wi-Fi通信を利用して、FOMA端末またはmicroSDカードの静止画データや音楽データを、ホームネットワーク対応のテレビなどで視聴することができます。

- コンテンツマネージャーで管理されている次のデータを公開できます。

データの種別	ファイル形式
静止画データ※1	JPEG
動画データ	MP4、3GP(映像コーデック:H.264、音声コーデック:aac)
音楽データ※2	MP3、LPCM(44.1kHz/2ch)、WAV(44.1kHz/2ch)

※1 画像サイズが「4096×4096」より大きい静止画データは、表示できません。
※2 WAVファイルはデータ形式がLPCMの場合のみ再生できます。また、LPCMはFOMA端末には表示されません。

- 公開するデータは、あらかじめmicroSDカードの次のフォルダに格納してください。

データの種別	フォルダ階層
静止画データ	¥DCIM、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥PICTURE
動画データ	¥DCIM、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MOVIE
音楽データ	¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MUSIC、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥SOUND

- ホームネットワークサーバーを利用するにはあらかじめWi-Fi接続が設定されている必要があります。Wi-Fiについては☞P.41
- 本FOMA端末が接続可能なテレビの機種については、http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/dlna/sh-13c.htmlをご覧ください。
- ホームネットワーク対応のテレビからFOMA端末に接続する操作方法は、ホームネットワーク対応のテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 無線LANアクセスポイントやご使用の環境により、正常に接続できない場合や、使用中に接続が解除される場合があります。その場合は、一度ホームネットワークサーバーを無効にし、再度ホームネットワークサーバーを有効にしてください。
- 正常に接続できない場合は、次のことを確認してください。
  - ■アクセスポイントの設定
  - ■Wi-Fi接続の状態
  - ■接続するホームネットワーク対応機器のネットワークの設定
  - ■ホームネットワーク対応機器のセキュリティソフト/ファイアウォールの設定
  - ■FOMA端末のホームネットワーク設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[ホームネットワーク設定]

2 項目を選ぶ

- ■ホームネットワークサーバー:ホームネットワークサーバーを有効にします。
- ■公開ネットワーク:Wi-Fi接続で設定したアクセスポイントから利用するネットワークを設定します。
- ■サーバー名:ホームネットワーク対応のテレビで表示するホームネットワークサーバー名を登録します。

付録／索引

オプション･関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01※1※2／02※1※2
- 電池パック SH29
- リアカバー SH55
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01※3
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01※3
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1※2
- FOMA DCアダプタ01※2／02※2
- FOMA乾電池アダプタ 01※2
- キャリングケース 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- FOMA 補助充電アダプタ 02※2
- FOMA ecoソーラーパネル 01※2
- ワイヤレスチャージャー 01

※1 ACアダプタでの充電方法については、P.32をご覧ください。
※2 FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01を接続してご利用ください。
※3 FOMA ACアダプタ01／02やFOMA DCアダプタ01／02を接続してご利用ください。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.82）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

FOMA端末の電源が入らない	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.31
● 電池切れになっていませんか。	P.32

■ 充電

充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.31
● アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。	P.34
● アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。	P.34
● ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタ、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01（別売）、FOMA端末がしっかりと接続されていますか。	P.34

● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	–

付属のワイヤレスチャージャーで充電できない（チャージインフォメーションが点灯しない）	
● 専用ACアダプタを使用していますか。	P.33
● 専用ACアダプタの電源プラグ、コネクタが奥まで確実に差し込まれていますか。	P.33
● ワイヤレスチャージャーとFOMA端末や電池パックの間に異物がありませんか。	P.33
● 充電完了またはほぼ充電完了しています。	P.33
● FOMA端末や電池パックを充電エリアの中央付近に置いていますか。	P.33
● FOMA端末や電池パックを正しい向きに置いてください。	P.33

ワイヤレスチャージャーで充電できない（チャージインフォメーションが早い点滅をする）	
● 専用ACアダプタを使用していますか。または異常がありませんか。専用ACアダプタを使用しても状態が変わらない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に差し込み直してください。	–
● ワイヤレスチャージャーとFOMA端末や電池パックの間に異物がありませんか。	P.33
● FOMA端末や電池パックを充電エリアの中央付近に置いてください。	P.33

ワイヤレスチャージャーで充電できない（チャージインフォメーションがゆっくり点滅（約２秒点滅）をする）	
● FOMA端末や電池パックの温度が高すぎたり、低すぎたりしませんか。5℃～35℃の場所でFOMA端末や電池パックをしばらく置いてから充電してください。	–

ワイヤレスチャージャーでの充電時間が長い	
● 充電する場所の温度が高すぎたり、低すぎたりしませんか。5℃～35℃の場所で充電してください。	–

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
● 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	–

電池の使用時間が短い	
● 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	–
● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	–
● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、１回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.32

電源断・再起動が起きる	
● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	－
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	
● FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.36
ドコモminiUIMカードが認識しない	
● ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.29
時計がずれる	
● 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 自動で時刻を補正するように設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	－

■ 通話

タッチしたり、キーを押したりしても発信できない	
● ロック設定の音声発信制限を設定していませんか。	－
● 電波OFFモードを設定していませんか。	－
通話ができない（場所を移動しても[ ]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
● 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。	P.29 P.31 P.36
● 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[ ]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	－
● 着信拒否など着信制限を設定していませんか。	－
● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	－

■ おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない	
● 電池パックを取り外したりすると、おサイフケータイ ロック設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。	－
● おサイフケータイ ロック設定を行っていませんか。	－
● FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	－

エラーメッセージ

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを「英数字」、「50音」の順に記載しております。

[SIMカードを挿入／再確認してください。]

- ドコモminiUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.29

[xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]

- 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に表示されます。

[応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー　送信できませんでした]
[接続エラー　送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応しておりません]
[通信エラー　しばらくたってから送り直してください]

- メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。

[このコンテンツを再生する権限がありません]

- 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。

[送信できませんでした]

- SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
- メールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。

[モバイルネットワークが利用できません。]

- 有効なネットワークモードに設定されているかご確認ください。

[ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。]

- 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

[ロックNo.を入力してください]

- FOMA端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。ロックNo.を入力すると、FOMA端末のロックが一時解除され、操作できます。
- ロックNo.の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※本FOMA端末は、電話帳のデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ■ 火災・けが・故障の原因となります。
  - ■ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・ 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - ・ 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ■ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  - ■ 銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  - ■ 使用箇所:スピーカ、受話口部
- 本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

■メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

SH-13Cのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

- ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。
- ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の３つの方法があります。

  自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

  即時更新：更新したいとき、すぐに更新を行います。

  予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のSH-13Cの状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■ 通話中・圏外にいるとき
  - ■ 国際ローミング中
  - ■ 電波OFFモード中
  - ■ Wi-Fiネットワークとの接続中
  - ■ USB接続時のマウント中
  - ■ OSバージョンアップ中
  - ■ MTP接続中
  - ■ 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ■ ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ■ ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書換え)には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用することはできません(ダウンロード中は音声着信が可能です)。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー(当社のサイト)へSSL/TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。

  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。]と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、[充電不足のため更新できません。フル充電をしてから再度更新を実行してください。]と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。

  ※ ソフトウェアダウンロード中はSMSの受信は可能ですが、メールアプリを起動するとダウンロードは中断されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-13C固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバー(当社が管理するソフトウェア更新用サーバー)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、[書換え失敗しました]と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

自動更新

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が[自動で更新を行う。]に設定されています。
書換え可能な状態になるとお知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えするかを選択できます。
お知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、お知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)は消去されます。
書換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、音声通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
自動更新設定が[自動で更新を行わない。]になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

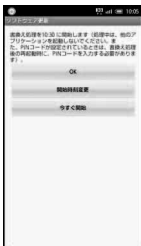
■ 自動更新の設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]

2 ソフトウェア更新通知があったときの動作を選ぶ

- 自動でソフトウェア更新をするとき:[自動で更新を行う。]
- 自動でソフトウェア更新をしないとき:[自動で更新を行わない。]

■更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ホーム画面にお知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)が表示されます。

1 ホーム画面でお知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)

2 書換え方法を選ぶ

■OK:設定時刻になると書換えを開始します。

■開始時刻変更:開始時刻変更については☞P.88「予約更新」の操作1へ

・アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

■今すぐ開始:今すぐ開始については☞P.87「すぐにソフトウェアを更新」の操作1へ

・書換えを開始します。

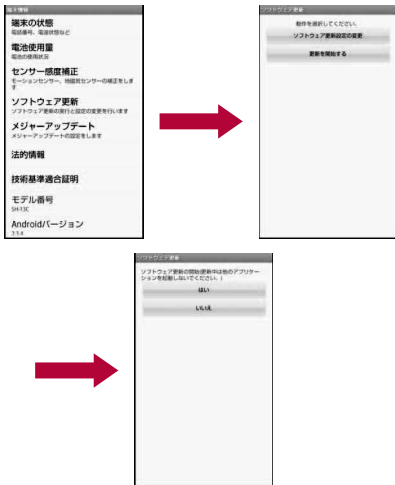
・書換えが完了するとお知らせアイコン[☑](ソフトウェア更新が完了しました。)が表示されます。

● お知らせアイコンは、一度確認すると消えます。

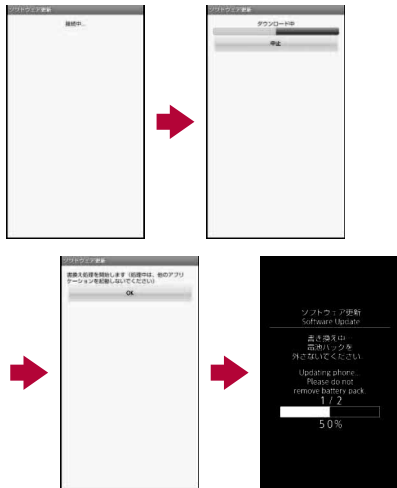
● 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ホーム画面にお知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)が表示されます。

即時更新

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。

2 [OK]

- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に２回自動的に再起動します。

3 ホーム画面が表示

- ステータスバーに[☑]が表示されます。[☑]は、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新

1 [今すぐ開始]

2 [書換え処理を開始します]▶[OK]

- [書換え処理を開始します]の表示が約3秒経過すると、自動的に書換えを開始します。
- 書換え中は、すべてのキー操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
- 自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべてのキー操作が無効になります。更新を中止することもできません。
- 更新を終了すると、約5秒後に自動的に再起動します。

4 お知らせアイコン[☑](ソフトウェア更新が完了しました。)

- ソフトウェア更新を終了し、ホーム画面が表示されます。
- ホーム画面に更新が完了したことを表すお知らせアイコン[☑](ソフトウェア更新が完了しました。)が表示されます。お知らせアイコン[☑](ソフトウェア更新が完了しました。)は、一度確認すると消去されます。

■ソフトウェア更新終了後の表示について

ステータスバーに[☑]が表示されます。[☑]をタッチすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

予約更新

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 **[開始時刻変更]**

- 書換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、SH-13Cの時刻に合わせて表示されます。

2 **希望の時刻を入力▶[OK]**

- 時刻を設定します。

■ 予約した時刻になると

1 [書換え処理を開始します] ▶ [OK]

- [書換え処理を開始します]の表示後約３秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときSH-13Cの電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SH-13Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※１）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.799W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※２）。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
シャープ株式会社のホームページ
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※１　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の２）で規定されています。

※２　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年３月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.660 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

This declaration relates to the handset only.

CE0168 ⓘ

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-13C is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.07 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.807 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID APYHRO00153.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model SH-13C mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.
This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.
The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use at the ear is 0.799 W/kg. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.
The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.
This mobile phone can be used in positions other than against your ear. This mobile phone satisfies the international guidelines when used with a carrying case or a wearable accessory approved by NTT DOCOMO, INC. (*2). In case you are not using the approved accessory, please use a product that does not contain any metals, and one that positions the mobile phone at least 1.5 cm away from your body.
The World Health Organization has stated that “a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/index02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
SHARP Corporation Website:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Regarding the method of measuring SAR when using mobile phones in positions other than against the ear, international standards (IEC62209-2) were set in March of 2010. On the other hand, technical regulation is currently being deliberated on by national council (As of October, 2011).

CAUTION

Use only the battery packs and adapters (including charger micro USB adapter) specified by NTT DOCOMO for use with the FOMA terminal.

May cause fires, burns, bodily injury or electric shock.

Do not throw the battery pack into a fire.

The battery pack may catch fire, explode, overheat or leak.

Do not dispose of used battery packs in ordinary garbage.

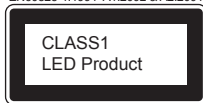
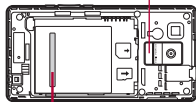
May cause fires or damage to the environment. Place tape over the terminals to insulate unnecessary battery packs, and take them to a docomo Shop, retailer or institution that handles used batteries in your area.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the FOMA terminal within the range of a temperature between 5°C and 40°C (for temperatures of 36°C or higher, such as in a room with a bath, limit usage to a short period of time) and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes. Especially when you shoot still pictures or moving pictures of young children, keep 1 m or more distance from them.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

CAUTION:

Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

Mobile light source LED characteristics

a) Continuous illumination

b) Wavelength
   White: 400-700 nm
   Red: 600-670 nm

c) Maximum output
   White: 409 μW (inside FOMA terminal 1.21 mW)
   Red: 140 μW (inside FOMA terminal 884 μW)

■ Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

0120-005-250 (toll free)

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website.
  NTT DOCOMO website:
  http://www.nttdocomo.co.jp/english/

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-13C, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter “+”, touch “0” for a while).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8000120-0151*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6718-1414* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-13C, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter “+”, touch “0” for a while).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8005931-8600*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

- If you lose your FOMA terminal or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the FOMA terminal.
- If the FOMA terminal you purchased is damaged, bring your FOMA terminal to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「ドコモ地図ナビ」、「mopera」、「mopera U」、「デコメール®」、「ｉアプリ」、「ｉモード」、「ｉチャネル」、「iD」、「WORLD WING」、「公共モード」、「メロディコール」、「エリアメール」、「spモード」、「声の宅配便」、「eトリセツ」、「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- マルチタスク／Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。
  © 2010 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved. DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- OBEX™、IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- PhotoSolid®、PhotoScouter®、TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。
- AOSS™ 及び、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。
  The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。
- 「モシモカメラ®」はアイティア株式会社の登録商標です。
  "mosimo camera®" is a trademark of AITIA Corporation.

● DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。
● This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
● This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
● Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品にはIntel Corporationのソフトウェアを一部利用しております。
● 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.
● 「らくらく瞬漢ルーペ®」、「ラクラク瞬英ルーペ®」、「撮る家計簿 Photoマネー™」は株式会社アイエスピーの商標または登録商標です。
● Powered by emblend™ Copyright 2010-2011 Aplix Corporation. All Rights Reserved.
● 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Rを搭載しています。
*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
● MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクツS.A.(ビジョンオブジェクツ)の商標です。
● 「Qi」および マークは、ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)の商標です。
● 本製品は沖電気工業株式会社の顔認識エンジンFSE(Face Sensing Engine)を使用しています。FSEおよびFSEロゴは沖電気工業株式会社の登録商標です。

● 「GALAPAGOS」、「AQUOS」、「AQUOS PHONE」、「TapFlow」、「ベールビュー」、「FAMILINK」、「AQUOS PHONE」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
● その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

● ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
● 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
■ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
■ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。

■ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  ■タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  ■永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。
  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ⅱ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ⅱ)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerおよび Adobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。

  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash ロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  再生するコンテンツによってはFlash Player の最新版が必要になる場合があります。

- Flash Playerを使用する際には、以下の事項をお守りください。
  (i)ソフトウェアを複製、頒布しないこと。
  (ii)ソフトウェアを改変したり、派生物を作成しないこと。
  (iii)ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、その他ソースコードの解析をしないこと。
  (iv)ソフトウェアの権利に関する表明をしないこと。
  (v)ソフトウェアの使用によって被った間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、結果的損害等を含む一切の損害の賠償を請求しないこと。
- コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 「CP8 PATENT」
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Google、Google ロゴ、Android、Android マーケット、Gmail、Google マップ、Google トーク、Google マップ ナビ、Google Latitude、Google プレイス、Google 音声検索、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- EUPHONY™は、DiMAGIC(ダイマジック社)の仮想音源処理技術を含む総合的な音質向上技術の商標です。

索引

本索引は、機能名や記載内容を要約した用語を「50音」、「英数字」の順に収録しています。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申し込み、各種資料請求をオンライン上で承っております。

My docomo(http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード
FOMA端末から鳴る音を消します。
※ ただし、カメラのシャッター音は消せません。

● 公共モード(電源OFF)
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
＜ドコモ インフォメーションセンター＞
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SH-13Cからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。（「＋」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
＜ネットワークオペレーションセンター＞
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SH-13Cからご利用の場合は、＋81-3-6718-1414でつながります。（「＋」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ

製造元　シャープ株式会社

Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

再生紙を使用しています

'11.9（3.2版）
TINSJA848AFZB
11J 50.0 YM TU108③